

# 酒田市学校施設整備方針【概要版】

## 1 背景・目的等

学校施設は、市が保有する全公共施設面積の約40%の面積を有し、今後集中的に更新時期を迎えようとする一方、少子化による児童生徒の減少と学校規模の小規模化が進み、今後更に進むことが予測されています。

これを踏まえ、施設の長寿命化及び学校規模の適正化を進めることにより、ライフサイクルコストの縮減及び財政負担の平準を図ることを目的とします。

【対象期間】令和3年度～令和7年度（5年間）

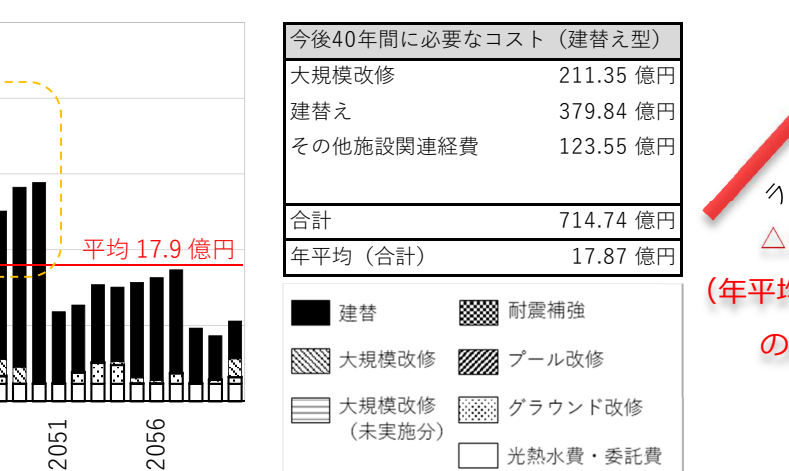
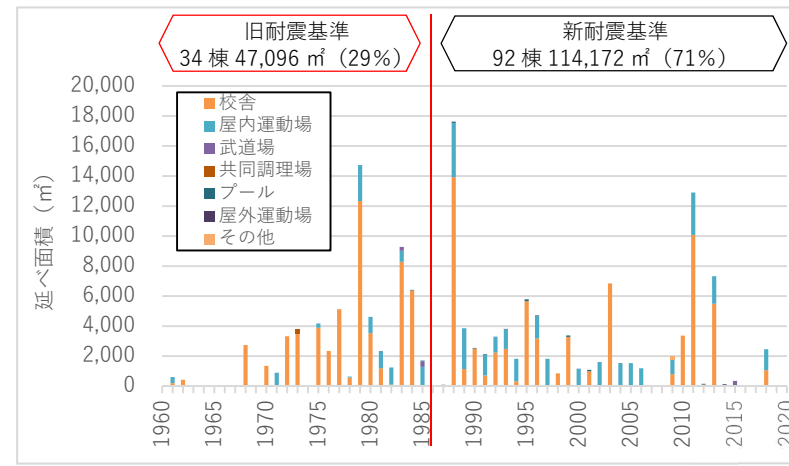
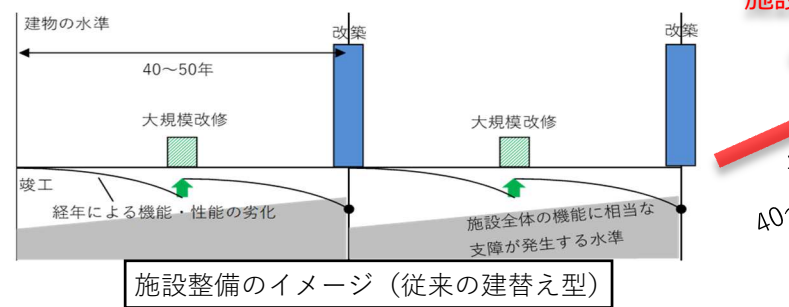
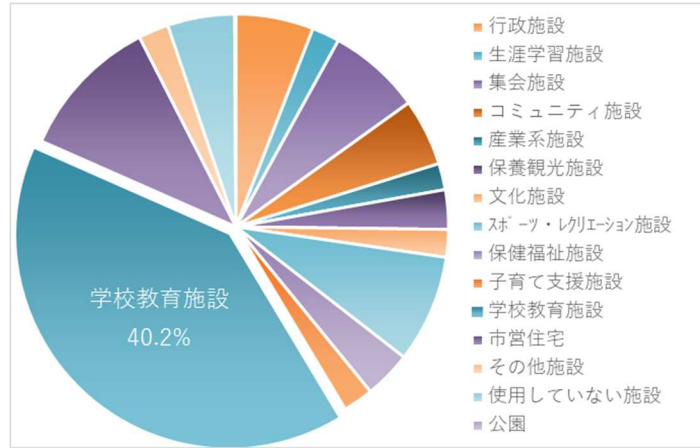
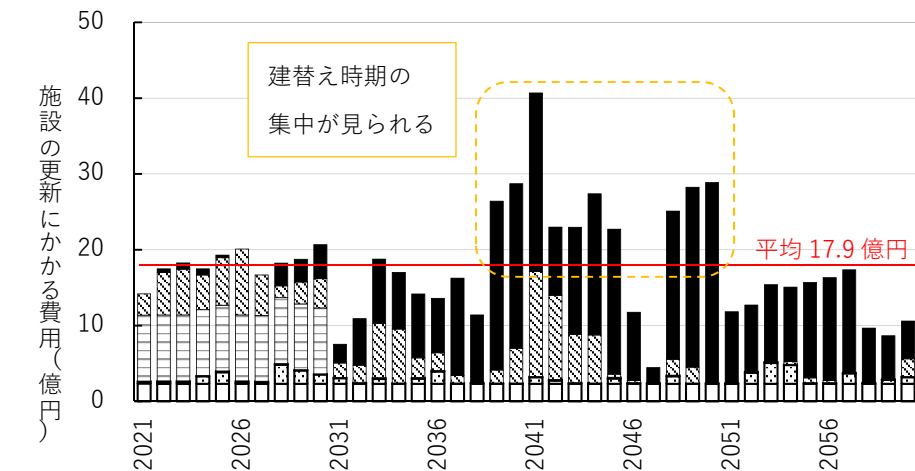
【対象施設】小学校23校、中学校8校、  
学校給食共同調理場1施設

## 2 取り巻く状況と実態

1970年代から80年代にかけて、人口増加に伴う児童生徒数の増加に合わせて、多くの建物が集中整備され、特に1979（昭和54）年は7棟17,470㎡、1988（昭和63）年は9棟17,627㎡と集中しています。

築30年を超える建物は87,372㎡で全体床面積の54%を占めています。さらに築20年を超える建物を含めると117,554㎡となり、全体床面積の73%に達し、老朽化が進んでいます。

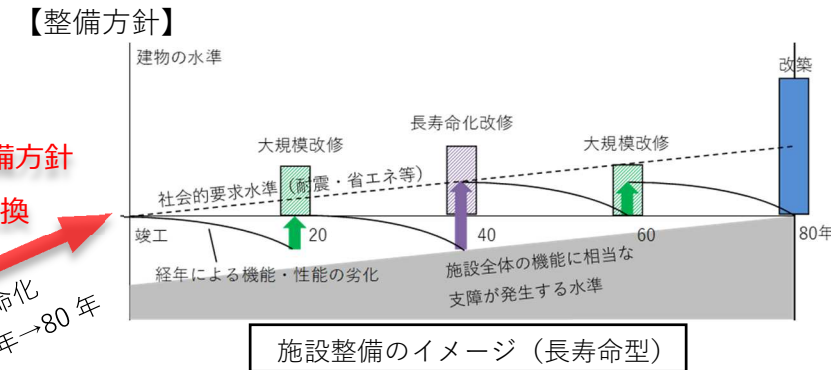
従来の建替え型での施設整備を今後も行うと想定し、建設後30年で大規模改修、60年で建替えを行う条件で試算した場合、今後40年間の維持・管理コストは、総額715億円、年平均では17.9億円/年となります。



## 3 目指すべき姿と整備方針

- 【目指すべき姿】
- ①新しい時代の安全・安心な教育環境の確保
  - ②学習・生活環境の質的向上
  - ③計画的・効率的な学校施設の整備
  - ④学校施設の適正化と有効活用(複合化・共用化)

大規模改修		長寿命化改修	
機能回復	・屋上防水改修	機能回復	・構造躯体改修
	・外壁改修		・内部改修(学習形態等への対応・省エネルギー化)
機能回復	・設備機器更新	機能向上	・サッシ改修
	・老朽化の著しい部位の修繕		・内部改修(学習形態等への対応・省エネルギー化に伴う設備システム変更・機器交換・配管配線交換)
機能回復	・故障や不具合の修繕	機能向上	・機能向上・省エネルギー化に伴う設備システム変更・機器交換・配管配線交換
			・バリアフリー改修
			・防災・防犯改修
			・高耐久改修



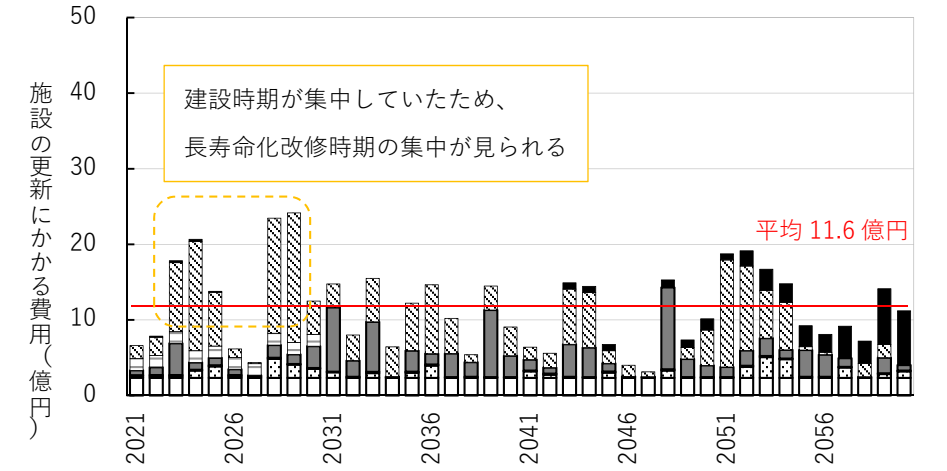
- ・部位別改修
  - ・建設後30年程度での大規模改修
  - ・事後保全
- ・目標使用年数を「80年」とし長寿命化
- ・計画的かつ効率的な改修
- 大規模改修：建設(長寿命化改修)後20年
- 長寿命化改修：建設後40年
- ・優先順位を付けて財政負担の平準化
- ・予防保全の視点で計画的改修

## 4 長寿命化実施方針

建設(長寿命化改修)後20年で大規模改修、40年で長寿命化改修、80年で建替えを行う条件で試算した場合、今後40年間の維持・管理コストは、総額465億円、年平均では11.6億円/年となり、従来の建替え型の年平均17.9億円/年と比較して、約35%(年間約6.3億円)の削減効果がみられます。

今後40年間に必要なコスト(長寿命化型)

大規模改修	96.19 億円
長寿命化改修	203.21 億円
建替え	41.71 億円
その他施設関連経費	123.55 億円
合計	464.65 億円
年平均(合計)	11.62 億円



今後40年間に必要なコスト(建替え型)

大規模改修	211.35 億円
建替え	379.84 億円
その他施設関連経費	123.55 億円
合計	714.74 億円
年平均(合計)	17.87 億円

ライフサイクルコストの縮減

△250億円(年平均△6.3億円)の削減効果

通し番号	建物基本情報		総合評価点数
	施設名	施設名	
1	飛鳥小学校	屋内運動場	79.93
2	飛鳥小学校	校舎	77.62
3	広野小学校	管理棟、教室棟	75.80
4	若浜小学校	管理棟、教室棟、給食室	69.87
5	広野小学校	給食室	69.04

通し番号	建物基本情報		総合評価点数
	施設名	施設名	
1	第四中学校	特別教室棟	98.89
2	飛鳥中学校	屋内運動場	84.38
3	飛鳥中学校	校舎	80.47
4	鳥海八幡中学校	屋内運動場	75.93
5	第六中学校	校舎	65.60